

出前講座による民有林支援について

東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署 主事 ○川本 我夢
主事 ○小野 響希
羽後町農林課 主事 ○佐藤 駿

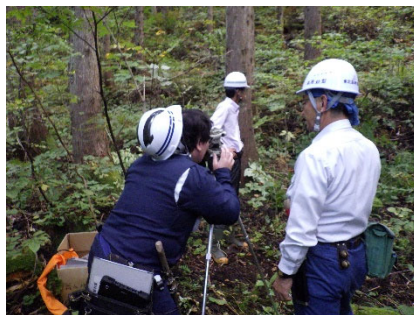
1 課題を取り上げた背景

平成10年の森林法改正以降、民有林の森林管理における市町村の役割は大きくなっています。令和6年からは森林環境税の課税が始まり、森林に対する国民の関心が高まる中で、市町村は、地域の実態に即した森林整備の推進が期待されています。その一方で多くの市町村は、専門性という観点から林務体制の整備が進んでいない状況にあり、林務担当者の森林管理に必要な技術力の向上が課題になっています。

当支署管内の羽後町においても同様の課題を抱えており、羽後町長より林務担当者の技術力向上に関する支援要請が湯沢支署にありました。そこで、羽後町林務担当者の「森林管理に必要な技術力の向上」を目的として、支署職員を派遣する出前講座を実施しました。

2 取組の経過

はじめに、羽後町の林務担当者に、森林管理の状況、業務上における課題、習得したい技術についてヒアリングを行い、講座プログラムを作成しました。続いて、プログラムに基づき、国有林と羽後町町有林において、全6回の出前講座を実施しました（写真1）（表1）。最後に、出前講座のまとめとして、各回の振り返りと補足説明を行いました。



（写真1）フィールドワークの様子

（表1）出前講座の内容と日程

	講座内容	日付	場所
第1回	要間伐林分の把握	5月27日	羽後町風谷山町有林
第2回	立木調査（標準地調査法）の演習	6月28日	羽後町上桧山国有林
第3回	ドローンによる林分把握、立木調査の実施	10月11日	羽後町風谷山町有林
第4回	列状間伐、複層伐の踏査	10月15日	羽後町明通沢国有林
第5回	森林施業現場の視察	10月22日	湯沢市小安奥山国有林
第6回	木材市場の視察	12月2日	秋田県森林組合連合会木材流通センター

3 実行結果

羽後町林務担当者より、出前講座について感想をいただきました。その一部を紹介します。

- 初めて国有林内に入り、その状況を見る大変貴重な機会でした。また、輪尺やトゥルーパルス等、現場で使用する機材を体験し、標準地設定における基礎知識を得ることができました。（第2回）
- 木材ごとにどのような用途で需要があるか説明を受けながら、購入する側の目線で見学することができました。実際の入札結果についても情報をいただき、大変参考になりました。（第6回）
- 標準地調査を実際にやってみました。標準地の設定が思ったより大変でしたが、町有林の現状を改めて把握することができました。

4 考察

出前講座による民有林支援は、市町村と森林管理署の双方にメリットがあります。市町村においては、出前講座の目的である、「林務担当者の森林管理に必要な技術力の向上」を通じて、適切な民有林管理の推進が図られます。他方、森林管理署においては、講座プログラム作成のために行うヒアリングや、講座中の質疑応答を通じて、市町村の森林管理の現状と課題について理解を深め、より実効性のある民国連携を立案することが可能になります。今後は、今回行った出前講座を参考に、民有林行政と連携し、湯沢支署管内の他市町村への拡大を検討しています。